

なぜ今、新エネルギーが必要なのか

みなさんは、新エネルギーということばをご存知ですか。市では、新エネルギーに関するいろいろな取り組みを行っています。新エネルギーとはどういうものなのか。そして、その必要性や市の取り組みについて、4回シリーズで紹介します。

新エネルギーとは？

新エネルギーとは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出量が石油や石炭などの化石燃料に比べ少なく、エネルギー源の多様化に貢献するエネルギーのことです。たとえば、風力や太陽光、バイオマスなどから得たエネルギーから発電するなど新たなエネルギーを作り出すものです。



新エネルギーのイメージ

環境問題・エネルギー問題と新エネルギーの必要性

なぜ今、新エネルギーが必要なのでしょう。新エネルギーが必要で

環境問題・エネルギー問題として「地球温暖化問題」があります。

11月23日、世界気象機関(MWO)は、主要な温室効果ガスの08年の世界平均の大気中濃度が、いずれも観測史上最高を記録したと発表しました。

温室効果ガスは、地球温暖化の主な原因と考えられています。人間の都合で長年にわたり化石燃料の使用や自然破壊を続けてきたことにより、この温室効果ガスは増加の一途をたどっています。

近年、インド洋にあるモルディブ諸島や南太平洋にあるツバルなどの海抜の低い島々が、海水面の上昇により水没の危機にひんしているのは、

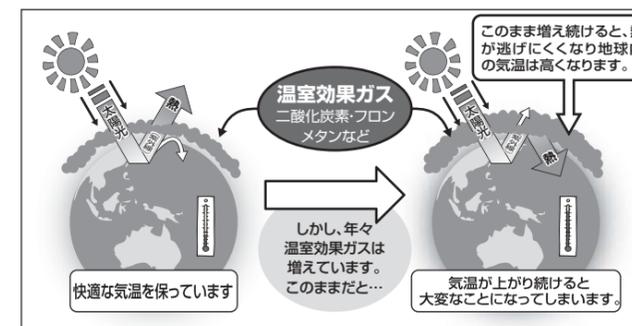
温室効果ガスによる地球温暖化の原因ではないかと言われている。

では、なぜ温室効果ガスが増えるのでしょうか。それは、石油、石炭、天然ガスなどのエネルギー資源を使う量が増えることで空気中に出される二酸化炭素(CO₂)の量も増えるからです。

つまり、私たちの生活に欠かせない自動車や電化製品を使うだけでも二酸化炭素は排出され、洋服やプラスチック製品など様々な物を作る際にもエネルギー資源を使い、それによって二酸化炭素(CO₂)が排出されるのです。

もう一つの大きな要因としては、開発等により二酸化炭素(CO₂)を吸収する働きがある森林が減ってきていることがあげられます。

私たちが快適に暮らせば暮らすほど温室効果ガスを排出し、それによって地球温暖化が深刻化していくのです。



※「温室効果ガス」

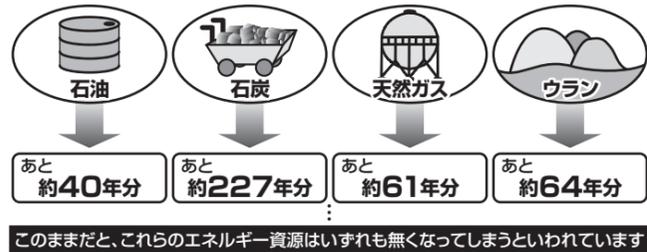
二酸化炭素、メタン、フロンなどのガスで、太陽からの熱を地球に閉じ込め、地球を暖める性質(温室効果)があります。

●新エネルギーに関するおたずねは
産業誘致課
☎ 65549



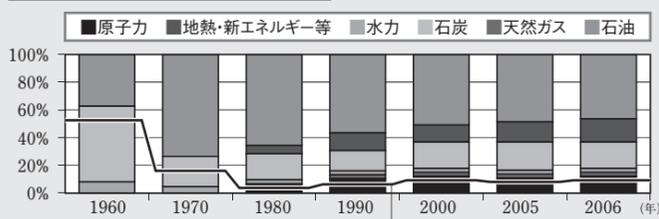
▲国内最大級の発電能力(総出力78,000kw)を誇る新出雲風力発電所

エネルギー資源はあとどれくらいもの？

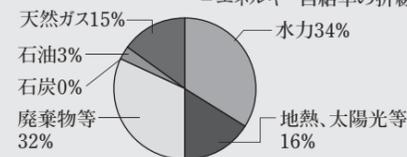


■エネルギー問題
新エネルギーが必要な理由の2つ目としては、「エネルギー問題」があります。私たちの生活に欠かせない物の多くが石油をはじめとしたエネルギー資源によって作られています。しかし、石油、石炭、天然ガスをはじめとした化石燃料はこのまま使い続けると、石油はあと40年、天然ガスはあと61年ほどで無くなってしまふといわれています。

日本のエネルギー総供給構成



エネルギー自給率4%の内訳



自給率の動向

	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2005年	2006年
エネルギー自給率	57%	14%	6%	5%	4%	4%	4%
(原子力含む)	(57%)	(14%)	(12%)	(16%)	(19%)	(18%)	(19%)

資料:IEA「Energy Balances of OECD Countries 2005-2006」

原子力に関する記述の出所はエネルギー白書(2005,2006年版)

また、日本で使われているエネルギーのほとんどは輸入に頼っており、国内で作られているエネルギー資源は、原子力発電を除くとわずか4%ほどです。そして、日本のエネルギー構成の約半分を占めている石油のほとんどを輸入に頼っている状況です。

このようなことから、私たちが将来も安定した生活をおくるためには、使用するエネルギーを節約するとともに、既存のエネルギー資源に頼らない新エネルギーなど、別のエネルギーを作り出していくことが必要になります。

エネルギーへ取り組んでおり、新エネルギーを活用した施設が多くあります。風力発電では、国内最大級の新出雲風力発電所やキララトゥーリマキ風力発電所、太陽光発電では、市役所本庁舎の屋上にも設置されていますし、家庭でも設置される方が増えてきています。このほか、廃棄物発電をしている出雲エネルギーセンター、バイオディーゼル燃料(BDF)を製造するプラントなどもあります。



市役所本庁舎屋上にある太陽光パネル

今後、このシリーズでは市内の新エネルギー施設の紹介や、市の取り組みについて掲載していきます。